

5部

オンデマンド・
スクーリングのご案内



在宅で受講可能な「オンデマンド・スクーリング」を下記の科目について、実施いたします。※同一期に複数科目の申込みができます。

[重要]

オンデマンド・スクーリングでは、受講申込みからスクーリング試験提出まで、すべてパソコン上で操作していただきます。

また、オンデマンド・スクーリングのスクーリング試験は、一部の科目を除き、ワードファイルに解答を作成していただき、そのワードファイルをメールに添付して提出していただきます。

本学において、メールの送信、ワードの使用方法などパソコンの一般的な操作方法に関するご質問は受付けておりませんのでご了承ください。

●今回申込みを募る科目＝オンデマンド・スクーリング 15～17期

期	(注3)			科目名	申込締切	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (正午) (注4)	\$単位	受講料
	～ 20	21 ～ 23	24 ～							
15	◆	★	■	障害者福祉論	11/15	11/26	12/6		2	10,000円
				心理系 人格心理学					2	10,000円
16		★	■	介護概論 (注1)	11/29	12/10	12/20	1/8	1	5,000円
		★	■	福祉行財政と福祉計画					1	5,000円
	◆			福祉計画法(旧カリ)						
			■	精神保健福祉のサービス					1	5,000円
	◆	★		精神保健福祉論Ⅱ(旧カリ)						
	◆	★	■	社会福祉原論(職業指導を含む)					2	10,000円
				心理系 生涯発達心理学					2	10,000円
17				心理系 心理学研究法Ⅰ (注2)	12/13	12/24	1/3	1/22	1	5,000円
		★	■	社会福祉援助技術論B					1	5,000円
				幼保特例 相談支援					1	5,000円
				共通基礎 法の基礎(日本国憲法を含む)					2	10,000円

(注1) 平成26年度配本の教科書を使用している科目。必要に応じて資料配付します。

(注2) 受講条件あり。

(注3) ◆=平成14～20年度入学者 ★=平成21～23年度入学者

■=平成24年度以降入学者向け科目

(注4) スクーリング試験受理連絡は、スクーリング試験をご提出いただいたメールアドレスに返信いたします。

※ 受講期間中はこまめにメールをチェックしてください（必要事項はすべてメールでご連絡します）。

※ 申込締切日以降に受付手続きを行います。受講申込者は下記のことを確認ください。

送付・連絡物	通知方法	留意点
受講料納入依頼書	郵送	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
試験要領	「TFUオンデマンド」上から自身でダウンロード (受講開始日以降可能)	郵送はいたしません。受講科目のコンテンツ内より自身でダウンロードし、必ず内容（スクーリング試験課題や留意事項等）を確認してから受講してください。
講義資料	郵送 (資料のある科目のみ)	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
視聴開始連絡	「TFUオンデマンド」上の「お知らせ」および一括送信メール	受講開始日までに届くことをご確認ください（メールが届いていない方はご自身の受信設定をご確認ください）。

※ オンデマンド・スクーリング申込・受講・単位修得方法やTFUオンデマンド使用方法の詳細は『学習の手引き』10章、概要は2013～2015版 p.11、2009-2011★版および2002-2008◆版 p.9に記載がございます。必ずご理解いただいたうえで受講申込みを行ってください。

● 「2つの講義（試験）は同時に視聴（受験）できません」と表示される場合
➔ 『試験・スクーリング 情報ブック2015』 p.61～62参照。

スクーリング・アンケートより(3)

アンケートよりスクーリング講義の感想を抜粋いたしました。

●人間と教育

- ・日本の教育が近代化していく過程を歴史的に見ていくことで、教育や道徳といったものが突然現れるのではなく、過去の積み重ねと時代や社会の要請で姿を現していくことを学べた。色々となつた視点が出来ました。
- ・子どもの教育について、創造性、拡散的思考の大切さがわかりました。環境によって変化し、スキンシップ、愛情、肌のぬくもりなど、子育てしていく上で再認識でき、実行していきたいと思います。
- ・教育の歴史や各国の取り組み、また子どもがどうとらえられていたのかについて知って、より深く理解することができました。教科書を読むだけではなかなか理解できなかったですが、講義に参加して自然に教科書が読めるようになりました。数時間、数日間ではありますが、充実した講義でした。

●科学的な見方・考え方

- ・本当に早めに受講しておけば良かったと痛感しています。今まで提出したレポートがどれも「総合学習」のまとめになっていました。今回学んだものは、仕事でもすぐに活かせる、説得力ある資料や提案書が作れそうです。自分の言いたいこと、意見を、エビデンスに基づいて言語化、文語化する術を基本から教えていただいたと思います。
- ・入学して3年目に入りますが、もっと早く受講しておけば良かったというのが正直なところ。「レポート課題集」によると内容の難しいものであるように感じていましたので、受講は迷いました。「最初に受けてほしい授業」というのを、最初の年に知りたかったです。それくらい今後のレポート作成に良い影響をいただく授業でした。ありがとうございました。

●発達障害教育総論

- ・今までLDについて具体的にわからなかったが、事例を出して教えていただいたり、実際に自分もRayの複雑図形のテストを受けてみて、どの程度なのかを考えることができました。ことばの指導の必要性がわかって、もっと勉強したくなりました。
- ・スクーリング受講前は、高機能自閉症とアスペルガー症候群の理解が曖昧でした。それぞれの定義（特徴）が正しく理解できたと思います。Rayの複雑図形も想像していたより自分が書けたことに驚きました。それと障害をもった児童の症例と照らし合わせた時、“困り感”を体験できたように感じました。